

『高齢社員の戦力化と効果的な人材マネジメント』に向けたアンケート調査

調査ご協力をお願い

1. 当機構は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構法に基づき、高年齢者等及び障害者並びに求職者その他の労働者の職業の安定、その他福祉の増進を図るために、各種の事業を行っております（ホームページ<https://www.jeed.go.jp>）。
2. 本調査は、少子高齢化が進展するなかで、企業にとって高齢社員の有効活用を図る人事管理を提示する目的で実施しております。
3. この調査票にご記入いただいた内容は、全て統計的に処理され、回答が他に漏れることはございませんので、ありのままをご記入くださいますようお願い申し上げます。業務のご多忙の折、ご迷惑をおかけしますが、ご協力賜りますと幸いです。
4. この調査に関してご不明の点がございましたら、下記の担当者までお問い合わせください。

調査についてのご照会先（月～金曜日の平日、時間10：00～12：00、13：00～16：00）

【調査票の記入方法、締め切り等について】

業務委託先：

【調査の趣旨・目的について】

（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構 雇用推進・研究部 研究開発課

ご記入にあたって

1. 特に断りのない限り、2018（平成30）年10月1日現在の状況についてお答えください。
2. ご回答は、
 - ・ 当てはまる番号に○印をつけていただくもの
 - ・ や（ ）に具体的にご記入いただくもの があります。
3. 数字を記入する場合は、右詰で1マスに一字記入してください。（記入例

	4	7
--	---	---

 人）
4. ご回答の内容によって、他の設問にとぶ場合があります。当てはまる番号に○印をつけてから、指示に従ってお進みください。
5. ご記入が終わりました調査票は、2019（平成31）年1月10日（木）までに、同封の返信用封筒（切手不要）にてご投函ください。
6. 調査結果の概要は、2020年夏ごろに、当機構ホームページ（<https://www.jeed.go.jp>）にて公表の予定です。

I. 貴社の概要

問1 貴社の主たる業種は。（○は1つ）

1	鉱業、採石業、砂利採取業
2	建設業
3	製造業
4	電気・ガス・熱供給・水道業
5	情報通信業
6	運輸業、郵便業
7	卸売業、小売業
8	金融業、保険業
9	不動産業、物品賃貸業

10	学術研究、専門・技術サービス業
11	宿泊業、飲食サービス業
12	生活関連サービス業、娯楽業
13	教育・学習支援業
14	医療、福祉
15	複合サービス業
16	その他サービス業
17	その他

問2 貴社の主な事業の競争環境は、【A】と【B】のどちらですか（○は1つ）
 【A】製品・サービスの質の高さで競争している 【B】製品・サービスの安さで競争している

- | | | | |
|---|---------------|---|---------------|
| 1 | Aである | 3 | どちらかといえば、Bである |
| 2 | どちらかといえば、Aである | 4 | Bである |

問3 貴社は今後、経営を拡大する方針ですか、縮小する方針ですか。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|---------|---|------|---|---------|
| 1 | 拡大する | 3 | 現状維持 | 4 | やや、縮小する |
| 2 | やや、拡大する | | | 5 | 縮小する |

II. 貴社の人材活用の状況

問4 貴社における社員数は（正社員のほか直接雇用している嘱託社員、契約社員・準社員、パートタイマー等の非正社員は含め、役員・派遣・請負は除いてください）（概数で結構です）。

約

--	--	--	--	--

 人

問5 貴社の正社員数は。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|---------|---|------------|---|--------------|
| 1 | 30人以下 | 4 | 101～300人 | 7 | 1,001～5,000人 |
| 2 | 31～50人 | 5 | 301～500人 | 8 | 5,001人以上 |
| 3 | 51～100人 | 6 | 501～1,000人 | | |

問6 貴社の正社員数は、ここ3年間でどのように変化しましたか。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|---|-----|
| 1 | 増えた | 3 | 変わらない | 5 | 減った |
| 2 | やや増えた | 4 | やや減った | | |

問7 貴社の正社員に占める「45～59歳」の比率は。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|------------|---|------------|---|-------|
| 1 | 10%未満 | 3 | 30%以上50%未満 | 5 | 70%以上 |
| 2 | 10%以上30%未満 | 4 | 50%以上70%未満 | | |

問8 全体的にみて、貴社の人員は。（○は1つ）

- | | | | | | |
|---|----------|---|---------|---|-------|
| 1 | 不足している | 3 | 適正である | 5 | 過剰である |
| 2 | やや不足している | 4 | やや過剰である | | |

問9 貴社の60歳以上の社員は（役員、派遣・請負は除いてください）（概数で結構です）。（○は1つ）

1	在籍している
2	在籍していない

}
→
調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

→付問1 60～64歳は。

1	いる
2	いない

}
→
 何名いますか

--	--	--	--	--

 約

--	--	--	--	--

 人

→付問2 65歳以上は。

1	いる
2	いない

}
→
 何名いますか

--	--	--	--	--

 約

--	--	--	--	--

 人

以降の設問は、問9. 60歳以上の社員が「1. 在籍している」と回答した企業にお尋ねします。
また、本調査では60歳以上の社員を「高齢者」と呼びます。

問10 高齢者のうち、最も多い職種は。(役員、派遣・請負は除いてください) (○は1つ)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|---------------|
| 1 | 専門・技術職 | 3 | 営業・販売職 | 5 | 生産・運輸・建設等の現業職 |
| 2 | 事務職 | 4 | サービス職 | 6 | その他(具体的に:) |

Ⅲ. 定年制・継続雇用制度をめぐる現状

問11 貴社の定年制の現状は。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------|
| 1 | 定年なし → 問14へ |
| 2 | 60歳の定年を定めている |
| 3 | 61～64歳以下の定年を定めている |
| 4 | 65歳以上の定年を定めている |

→付問1 過去3年間の定年到達者総数は(概数で結構です)。

約

--	--	--

 人

問12 貴社は、定年制の見直しを考えていますか。(○は1つ)

- | | |
|---|-----------------|
| 1 | 考えていない |
| 2 | 定年制の廃止を考えている |
| 3 | 定年年齢の引き上げを考えている |
| 4 | 「2」と「3」以外で考えている |

→付問1 定年制の見直しにあたり、どのようなことが懸念事項ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------------|----|--------------|
| 1 | 高齢者の賃金の決め方 | 6 | 改定前後の社員の不公平感 |
| 2 | 退職金制度 | 7 | 現役社員の意欲の低下 |
| 3 | 高齢者に任せる仕事内容 | 8 | 組織の若返り |
| 4 | 高齢者の引退時期 | 9 | 高齢者間の個人差への対応 |
| 5 | 高齢者の健康管理や安全衛生 | 10 | その他 |

問13 定年到達者を対象とする継続雇用制度(再雇用制度等)は。(○は1つ)

- | | |
|---|----|
| 1 | ある |
| 2 | ない |

→付問1 就業規則等で定める上限年齢は。(○は1つ)

- | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|------|
| 1 | 65歳以下 | 3 | 70～74歳 | 5 | 上限なし |
| 2 | 66～69歳 | 4 | 75歳以上 | | |

→付問2 貴社は、継続雇用制度(再雇用制度等)の見直しを考えていますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---|---------------|------------|
| 1 | 考えていない → 問14へ | } → 付問2-1へ |
| 2 | 上限年齢の引き上げ・廃止 | |
| 3 | 対象者の範囲の拡大 | |
| 4 | それ以外での見直し | |

【前ページ問13付問2で、「2」～「4」に回答した方のみお答えください】

付問2-1 見直しにあたって、どのようなことが懸念事項ですか。(〇はいくつでも)

1	高齢者の賃金の決め方	6	改定前後の社員の不公平感
2	退職金制度	7	現役社員の意欲の低下
3	高齢者に任せる仕事内容	8	組織の若返り
4	高齢者の引退時期	9	高齢者間の個人差への対応
5	高齢者の健康管理や安全衛生	10	その他

問14 貴社では、59歳時点で在籍していた正社員が61歳時点で自社にどのくらい残っていますか。59歳を「100」とした場合の割合をお答えください。(〇は1つ)

1	0%	5	30～40%未満	9	70～80%未満
2	0超～10%未満	6	40～50%未満	10	80～90%未満
3	10～20%未満	7	50～60%未満	11	90～100%未満
4	20～30%未満	8	60～70%未満	12	100%

IV. 高齢者の活用方法

* 貴社における60歳以上の「高齢者」の活用状況についてお尋ねします。
 高齢者にも「複数」の社員区分がある場合、以下の①又は②を想定してお答えください。
 ① 59歳以下は正社員として働き、60歳以降も働き続ける人（正社員・非正社員を問わない）
 ② 59歳以下は非正社員として働き、60歳以降も働き続ける人（正社員・非正社員を問わない）
 尚、両方の区分に当てはまる人がいる場合は、①を優先しお答えください。

問15 貴社の「高齢者の活用方針と活用戦略」について伺います。
 (それぞれについて〇は1つ)

	あてはまる	やや、あてはまる	あまり、あてはまらない	あてはまらない
①会社は高齢者が今後どの程度増えるのか、見込みを立てている	1	2	3	4
②会社にとって高齢者は戦力であるという方針を持っている	1	2	3	4
③高齢者の生活上の事情や健康に配慮することを会社の方針として持っている	1	2	3	4
④高齢者の処遇を考えると、60歳前の正社員、パートタイマーや契約社員等の非正社員とのバランスを意識して決める方針を持っている	1	2	3	4
⑤高齢者に期待する成果・業績について、明確な方針を持っている	1	2	3	4

問16 貴社における「高齢者の評価・処遇」について伺います。
 (それぞれについて○は1つ)

	あてはまる	やや、あてはまる	あまり、あてはまらない	あてはまらない
①高齢者に対して、業務目標を設定している	1	2	3	4
②高齢者に対して、働きぶりや業績等の評価を行っている	1	2	3	4
③評価結果は、仕事内容、配置・異動、能力開発、の決定に活用している	1	2	3	4
④高齢者の賃金は、担当する仕事や職責で決めている	1	2	3	4
⑤賞与は、評価結果を反映している	1	2	3	4
⑥昇給は、評価結果を反映している	1	2	3	4

問17 貴社における「高齢者の仕事内容・就労条件」について伺います。
 (それぞれについて○は1つ)

	あてはまる	やや、あてはまる	あまり、あてはまらない	あてはまらない
①高齢者には60歳になる前に、仕事内容や賃金、労働時間等について説明している	1	2	3	4
②高齢者本人の希望に応じて、仕事内容や働く時間、働く場所を選べるようにしている	1	2	3	4
③高齢者の経験やスキルが活きるように、仕事内容に工夫を加えている	1	2	3	4
④高齢者が働きやすいように作業環境の改善（軽作業化、自動化、照明の改善など）を進めている	1	2	3	4
⑤高齢者の健康施策に取り組んでいる	1	2	3	4

問18 貴社における「高齢者の能力開発・キャリア開発」について伺います。
 (それぞれについて○は1つ)

	あてはまる	やや、あてはまる	あまり、あてはまらない	あてはまらない
①高齢者のキャリアや働き方の希望を把握している	1	2	3	4
②能力向上に努めるように高齢者に働きかけている	1	2	3	4
③社員には、長く働き続けられるように、若いときから専門能力・技能を身につけさせている	1	2	3	4
④社員に対して60歳以降の高齢期も含めたキャリアを考える機会を提供している	1	2	3	4
⑤高齢者に対して、教育訓練（社外セミナー等）や自己啓発支援を行っている	1	2	3	4

問19 貴社における「高齢者雇用の推進体制・風土づくり」について伺います。
 (それぞれについて○は1つ)

	あてはまる	やや、あてはまる	あまり、あてはまらない	あてはまらない
①経営者や管理者は社員に対して高齢者活用の大切さを働きかけている	1	2	3	4
②高齢者雇用に取り組むための体制（担当者の選任、表彰制度、相談窓口の設置等）を設けている	1	2	3	4
③上司との面談等によって、高齢者と緊密なコミュニケーションを図る工夫をしている	1	2	3	4
④高齢者には会社行事やミーティングに参加するように促している	1	2	3	4
⑤会社として高齢者の働きぶりを確認するようにしている	1	2	3	4

問20 貴社の「高齢者」は、以下の①～④について発揮できていますか。
(それぞれについて○は1つ)

	発揮でき ている	ある程 度、発揮 できている	あまり、 発揮でき ていない	発揮でき ていない
①管理能力・指導力	1	2	3	4
②専門能力	1	2	3	4
③労働意欲・信頼性・勤勉さ	1	2	3	4
④技能伝承への取り組み	1	2	3	4

問21 「高齢者」の仕事内容は、59歳以前の社員と比べて、どの程度変化していますか。
(それぞれについて○は1つ)

	増えてい る	やや増え ている	変わらな い	やや減っ ている	減ってい る
①担当する仕事の内容・範囲	1	2	3	4	5
②職責（仕事に対する責任）の重さ	1	2	3	4	5
③期待する仕事の成果	1	2	3	4	5
④配置転換の頻度	1	2	3	4	5
⑤出張の頻度	1	2	3	4	5

V. 高齢者雇用の評価と方針

問22 貴社の「高齢者」は、59歳前の正社員と比べて、どのレベル（等級）の仕事をしていますか。
担当する仕事のレベルについて、(1)「高い人」と(2)「低い人」、各々について、お答えください。
(○は、それぞれ1つずつ)

*表頭にある職位（等級）は参考ですので、貴社の状況にあわせて、概ね、あてはまる番号に「○」をつけてください

*例えば、「一般職V」は、高卒1年目の社員が担当する仕事のレベルです。

*例えば、「一般職I」は、係長・主任クラス前の社員が担当する仕事レベルです。

一般相当					係長・主任相当		課長相当	次長相当	部長相当	
一般職V (高卒初任 格付け)	一般職IV (短大卒初 任格付け)	一般職III (大卒初任 格付け)	一般職II	一般職I	係長・主任 相当II	係長・主任 相当I				
(1)高い人 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
(2)低い人 →	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問23 貴社は、「高齢者」の働きぶりについて、どのように評価していますか。（○は1つ）

- | | |
|---|------------|
| 1 | 満足している |
| 2 | やや満足している |
| 3 | あまり満足していない |
| 4 | 満足していない |

問24 貴社が「高齢者」に期待する役割を「100」とした場合、「高齢者」は、どの程度、その期待に応じていますか。平均的な「高齢者」についてお答えください（概数で結構です）（最大「100」～最小「0」）。

約

--	--	--	--

 %

問25 「高齢者」の活用によって、以下の項目には、効果がありましたか。（それぞれについて○は1つ）

	効果が あった	やや、 効果が あった	あまり、 効果が なかった	効果が なかった
①製品・サービスの質の向上	1	2	3	4
②職場の生産性の向上	1	2	3	4
③管理職の管理業務（人事管理・業績管理等）の負担軽減	1	2	3	4
④59歳以下の正社員の意欲の向上	1	2	3	4

問26 「高齢者」の活用について今後どのようにしたいと考えていますか（○は1つ）

- | | | | |
|---|-----------------|---|------------------|
| 1 | 改正高齢法の範囲にとどめたい | 4 | 70歳以上まで活用したい |
| 2 | 66～67歳程度まで活用したい | 5 | 上限年齢なく活用したい |
| 3 | 68～69歳程度まで活用したい | 6 | その他（具体的に： _____） |

問27 貴社（本社）の所在地は。

- | | | | | | | | | | |
|----|-----|----|------|----|------|----|-----|----|------|
| 1 | 北海道 | 11 | 埼玉県 | 21 | 岐阜県 | 31 | 鳥取県 | 41 | 佐賀県 |
| 2 | 青森県 | 12 | 千葉県 | 22 | 静岡県 | 32 | 島根県 | 42 | 長崎県 |
| 3 | 岩手県 | 13 | 東京都 | 23 | 愛知県 | 33 | 岡山県 | 43 | 熊本県 |
| 4 | 宮城県 | 14 | 神奈川県 | 24 | 三重県 | 34 | 広島県 | 44 | 大分県 |
| 5 | 秋田県 | 15 | 新潟県 | 25 | 滋賀県 | 35 | 山口県 | 45 | 宮崎県 |
| 6 | 山形県 | 16 | 富山県 | 26 | 京都府 | 36 | 徳島県 | 46 | 鹿児島県 |
| 7 | 福島県 | 17 | 石川県 | 27 | 大阪府 | 37 | 香川県 | 47 | 沖縄県 |
| 8 | 茨城県 | 18 | 福井県 | 28 | 兵庫県 | 38 | 愛媛県 | | |
| 9 | 栃木県 | 19 | 山梨県 | 29 | 奈良県 | 39 | 高知県 | | |
| 10 | 群馬県 | 20 | 長野県 | 30 | 和歌山県 | 40 | 福岡県 | | |

アンケートは、以上で終了です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にて**1月10日（木）**までにご投函ください。